

令和3年度病害虫発生予察情報 特殊報 第3号

令和3年11月1日

広島県西部農業技術指導所

1 害虫名 ヨコバイ科の一種 (和名なし) *Singapora shinshana* (Matsumura)

2 発生作物名 もも

3 特殊報の内容 広島県における初発生

4 発生経過

(1) 発生確認年月日 令和3年10月13日

(2) 発生地域 広島県南部

(3) 確認の経緯

令和3年10月、広島県南部のもも栽培ほ場(品種:「赤宝」,「川中島」,「あかつき」,「さくひめ」など)で、葉が白くカスリ状となり落葉する被害(写真1)及び、ヨコバイ科の成虫の寄生(写真2,写真3)が確認された。持ち帰った成虫を顕微鏡で観察したところ、既知の種ではなかった。そこで、農林水産省神戸植物防疫所に成虫を送付し、同定を依頼した結果、広島県では初めての確認であるヨコバイ科の一種(和名なし) *Singapora shinshana* (Matsumura) であることが判明した。

(4) 他県での発生状況等

国内では、沖縄県、和歌山県、徳島県、埼玉県、京都府、大阪府、岡山県、群馬県、滋賀県、香川県、栃木県、山口県、東京都、兵庫県の14都府県で発生が確認されている。

5 形態

成虫の体色は黄緑色(写真3,写真4)で、体長は3.0~3.5mm。複眼は黒色で、頭頂部に黒点(写真5)がある。

6 被害および主な寄生植物

幼虫及び成虫が葉を吸汁し、被害葉は表面が白くカスリ状となる。被害が進行すると落葉することがある。被害葉の裏面には幼虫の脱皮殻が付着する。寄生植物は、もも、すもも、うめ、なし、りんご等のバラ科果樹の他、サンザシ、ポポー、ポプラ等が報告されている。

7 防除対策

(1) 現時点で本種に登録のある農薬はない。

(2) 本種の発生及び被害の早期発見に努め、発見した場合は被害葉を除去して適切に処分する。



写真1 ももの被害樹（10月撮影）



写真2 ももの被害葉と成虫の寄生



写真3 ももの被害葉上の成虫



写真4 成虫

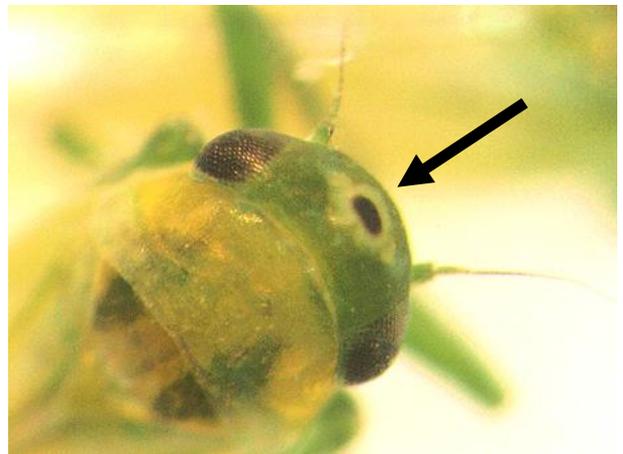


写真5 成虫の頭頂部の黒点

写真4, 5は採取後2週間経過した標本を撮影したもの（胸や翅が色抜けしている）